

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第179号

令和2年3月31日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

平成31年度 明るく新しい時代のはじまり！しかし、 感染症拡大で巷から子ども達の笑顔が消えた今！

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、世界中に先行きの見えない不安な影が落ちています。1か月半前までは、子ども達の笑顔を振り返りながら、協議会の会員のみなさまと総会で語らい、今年度最後協議会ニュースをお届けするつもりでした。しかし、理事会と総会はメールによる会議となり、科学講演会も中止となりました。今は、感染拡大の防止に取り組み、明るい未来が訪れることを信じ、科学体験の再開に向けて準備を進めていきましょう。

理事会・総会報告

2/28(金)に予定していた理事会は2/26(水)神奈川県の方針を受け、急遽2/28に資料を送付させていただき、メールでの会議とさせていただきました。直前の予定変更で、役員のみなさまにご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。規約に則り会長から時期(令和2~3年度)の理事として、現理事の皆様を推薦する意向が示され、理事の皆様にご承認をいただきました。異動等により後任の方が理事となられる場合がありますので、後日あらためて理事の皆様を紹介させていただきます。

3/6(金)に予定していた総会は、理事会をメール会議で行い、ご承認をいただくのに時間を要したため、資料を3/13に送付し、ご質問・ご意見をいただく形で開催しました。

中学生・高校生 対象講座

2月中旬に中学生・高校生を対象とする講座を開催しました。3月の講座は残念ながら中止となりました。

2/14(金)カナラボ (プログラミング)



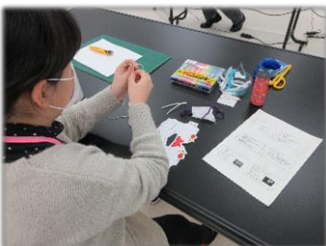
proro を用いたプログラミング講座と、今年度協議会に入会していただいた(公財)湘南産業振興財団ロボテラスの見学を行いました。
←マッスルーツ Every 体験

2/15(土)カナラボ (警察鑑識課の捜査体験)



警察の鑑識課で行われている犯罪捜査において、実際に行われている血痕の検出と指紋の検出について、その原理の解説と実験を行いました。

2/14(金)高校生実験実習講座 (工作)



科学に関する工作の教え方について体験を通して学びました。将来、幼児教育などの職業を志望している生徒のための講座です。

2/15(土)高校生実験実習講座 (バイオ)



生物の器官について学び、骨格の染色、筋肉の透明化など、標本作製に関する技術を体験しました。

事務局から

新型コロナウイルスに関して、26、27°Cの温かい飲み物で感染が防止できるというデマが一時広まりました。科学的な視点で説明すれば子ども達もデマだとすぐわかる話でした。

また、神奈川県には感染拡大防止とともに、検査法や治療法の研究に取り組んでいる機関があり、このような状況を経験した子ども達が、将来科学研究の道に進むこともあるかもしれません。科学体験活動を推進することで、例え災禍であっても、子ども達の将来の糧となるように頑張りましょう。(事務局：千葉、伴、熊切、山田)

